

鋸南町過疎地域持続的発展計画(素案)に関するパブリックコメント(意見募集)の結果

1 意見募集の実施状況

(1)募集期間 令和8年1月27日(火)から2月6日(金)まで

(2)意見の提出者数 1名

(3)意見の件数 6件

2 意見募集の結果

No.	計画素案 該当ページ	意 見	町の考え方・対応
1	P9 (4)地域の持続的発展の基本方針 1段落目	<p>●(4)地域の持続的発展の基本方針 若年層を中心とした人口流出による過疎化は、本町における若い労働力を減少させ、地域社会・地域経済・生活環境に深刻な変化をもたらしてきた。 ⇒ 人口流出は不可避な自然現象ではなく、若年層が町外での生活を選ばざるを得なかつた、あるいは周囲がそれを推奨してきたという、地域内の積み重ねられた選択の結果です。 文中の「本町における若い労働力を減少させ、地域社会・地域経済・生活環境に深刻な変化をもたらしてきた。」という受動的な表現は、問題の本質を曖昧にする恐れがあります。 行政と住民が、自分たちの課題として痛みを共有し、「次世代に選ばれる町へと自らを変革できなかつた」という内省的な視点こそが、実効性のある施策を生む出発点になると考えます。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 本町の課題を分析・整理し、P9の4段落目以降に次世代に選ばれる町にする方針を記載しております。 ご意見として承り、今後とも次世代に選ばれる町なれるよう様々な施策を実施してまいります。</p>
2	P11 2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 (2)その対策 7段落目	<p>●2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 交流人口や関係人口の拡大に向けて受け入れ体制の充実を図るため、町民のホスピタリティ(おもてなしの心)の醸成が必要で ⇒ 観光客が語ったり、記入したりするレビューは、どんな広告よりも大きなインパクトを持ちます。 現状、県外の方々から「対応が不親切で驚いた」という声を耳にすることが複数あり、自分自身もそう感じています。 都市部の高い接客レベルを”普通”だと感じておられる方々に対し、今の鋸南町がどのような印象を与えているか、今一度向き合う必要があると感じます。 町を訪れる方々を温かく迎えるホスピタリティは、仕組み(体制)を作るだけでは生まれません。 接客に携わる一人ひとりが「自分の振る舞いが町の評価や印象をカタチづくる」という自覚を持つこと。 そうした意識の”態勢”を見直すことが、優先すべき課題ではないでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 御意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

No.	計画素案 該当ページ	意 見	町の考え方・対応
3	P17 3 産業の振興 (1)現況と問題点 キ 観光・レクリエーション 5,6段落目	<p>●3 産業の振興 (1)現況と問題点 キ 観光・レクリエーション</p> <p>・「江月水仙ロード」や「をくづれ水仙郷」が人気となって～観光客が訪れているが、その多くが日帰り客であり、地域経済への波及効果が小さいことが課題となっている。 このため、年間を通して花の観光等を中心とした新たな魅力を創出し、滞在時間の延長及び宿泊の促進を図ることが必要とされている。</p> <p>⇒</p> <p>①江月地区の水仙ロードは、現状、車両の侵入や敷地内の花の踏み倒しといった「負の側面」が、住民の善意を疲弊させているように見えます。本音はどのように感じていらっしゃるのか?ヒアリングは出来ているのでしょうか。 ②桜や水仙などの保全活動を行う有志や地域住民に、観光収益が直接還元される仕組み(環境保全協力金の義務化や駐車場収益の還元など)の構築を検討してみてはいかがでしょうか。 ③観光客の滞在時間延長や宿泊に繋げる努力をしたとしても、町外事業者による宿泊施設の運営(グランピング施設など)は、二拠点居住・別荘利用の拡大と並んで、地域外への利益流出を招くのではないでしょうか?地域コミュニティの維持や税収に繋がらない「搾取的な構造」を生む懸念があります。 町民が宿泊施設を運営することにチャレンジする人を町がバックアップしたり、その施設と地域農家・商店が連携し、町内の消費が完結するビジネスモデルの支援など、町民が観光地であることに喜びと誇りを感じられるような施策を求める。 「笑楽の湯」も、半民間にするなどして、繋がりを持てるとよいのではないかでしょうか。</p>	<p>御意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 なお、「笑楽の湯」は民間委託等は現在検討されておりませんが、民間事業者からの提案等がありましたら、内容を精査しながら、慎重に対応していきたいと考えております。</p>
4	P30 5 交通施設の整備、 交通手段の確保 (2)その対策 ア 国道 1段落目	<p>5 交通施設の整備、交通手段の確保 2)その対策 ア 国道</p> <p>一般国道127号の安全走行と渋滞緩和を図るため、屈折交差点の改良、富津市と本町との市町境を通る狭小トンネルの拡幅</p> <p>⇒</p> <p>こどもたちからも、このことについて要望が出ていました。車社会で蔑ろにされやすいこども目線に意識的に立つことは、シティプライドを育てる事にも繋がると考えます。是非、よろしくお願いいたします。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 引き続き、要望してまいります。</p>

No.	計画素案 該当ページ	意 見	町の考え方・対応
5	P30～31 5 交通施設の整備、 交通手段の確保 (2)その対策 才交通機関 1,2,3段落目	<p>●JRに内房線の運行列車本数の現状維持を引き続き要請していく。 また、通勤・通学者の利便性を高めるため、高速バスの乗り入れ、周辺地域を対象としたパークアンドライドを推進するとともに、主要交通拠点を広域的に結ぶ新たな地域交通網の整備を図る。 地域公共交通計画策定後には、循環バスは、現行施設の適切な維持管理に努めながら住民ニーズに応じた経路、料金等の運行形態の見直しや貨客混載に取り組むとともに、高齢化の進展や高度情報化社会に対応した公共交通の整備を進めていく。 また、現在廃線となった路線バス・金谷線に代わる新たな公共交通網を模索して ⇒ 是非、よろしくお願ひいたします。</p>	引き続き、公共交通の課題を解決できるよう施策を実施してまいります。
6	P37 6 生活環境の整備 (2)その対策 才 町営住宅・住宅 関連助成制度 1段落目	<p>●6 生活環境の整備 (2)その対策 才 町営住宅・住宅関連助成制度 町営住宅の老朽化対策として建替を検討していくとともに、定住化の促進に向け、住宅関連助成制度や空き家バンクなどの充実を図る。 ⇒ 今の町営住宅は、町の代表的な海水浴場に近く宿泊施設が並ぶエリアにあるので、その景観を邪魔している印象です。 解体出来ない事情は、噂レベルでしか知りませんが、町として毅然とした対応をし、町の若返りや活性化に繋がるような町営住宅に生まれ変わることを期待します。 また、普通財産をリスト化して町民に明らかにし、例えば、DIY自由な町営住宅として活用したり、町内在住(確約)者に限った入札で売ったりするなど、多くの目で考え、動かしていってはいかがでしょうか？</p>	貴重なご意見ありがとうございます。公共施設の安全性確保の観点から、現建物については解体を予定しており、現建物解体後の建替え及び規模、用途の検討にあたっては、ニーズの把握や費用対効果の検証等、引き続き、関係機関との調整・協議を実施してまいります。 普通財産のリスト化による公表についても、今後の施策の参考にさせていただきます。